

move on

Vol.7 春号 2019年4月末発行

- 病院長の『つい嬉しくなっちゃうこと』
- 各診療科から
- レシピ紹介
- リレーエッセイ
- 執行部より

金澤 右 病院長



増刊号

裏面もあるよ！是非見てね！！

発行元：企画・広報課 ouhinfo@adm.okayama-u.ac.jp

金澤病院長の『つい嬉しくなっちゃうこと』



私は、長野県長野市生まれで、大学から岡山に来ました。今でも故郷が好きで、長野県や長野市、卒業した長野高校のことが話題に出てくると、「つい嬉しくなっちゃう」のです。もちろん、海も山も新幹線も飛行場もファジアーノもある「第二の故郷」岡山も大好きです（長野には海と立派な飛行場とJ2がありません）。ところで、皆さんは東京モノレール全車両に岡山大学病院の看板があるのをご存知でしょうか。それが話題になると、やはりつい嬉しくなります。

形成外科 マイクロサージャリー技術って何ですか？

形成外科では、1mm前後の細い血管やリンパ管、神経を顕微鏡下に拡大し縫い合わせる技術で、事故や病気などで失われた組織を修復しています。この顕微鏡下に特殊な器具や糸を使って行う手術のことを『マイクロサージャリー』といいます。例えば、機械に指が挟まれ指先を切り落としてしまった時は、この技術で血管と神経をつなぎ再度接着させることができます。それ以外にもマイクロサージャリー技術はがんの治療など多くの手術で使われており、これまで不可能と考えられていた病気に新しい治療法をもたらす可能性を秘めています。

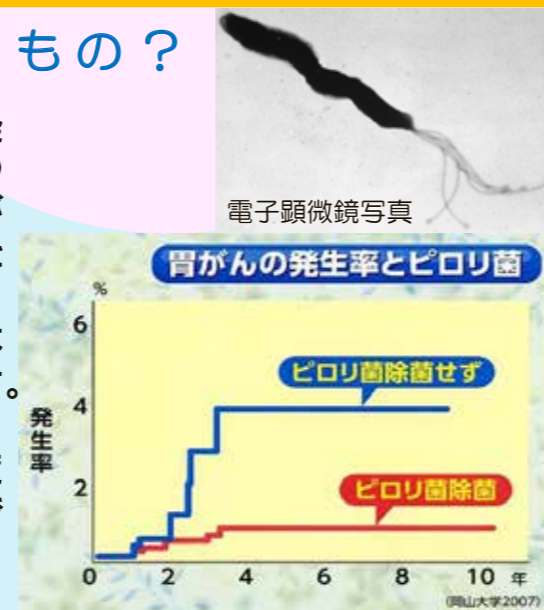
(形成外科 松本 洋)



消化器内科 ピロリ菌ってどんなもの？

ピロリ菌は胃の粘膜に感染する細菌です。幼少期に感染し、日本人では約4000万人が感染しています。胃がんの原因の95%以上はピロリ菌感染です。除菌によって胃がん発症が1/2～1/3に減少します。除菌は抗生物質2剤と胃酸分泌抑制剤1剤の計3剤を7日間内服して行います。除菌しても100%予防できる訳ではないので、定期的に内視鏡検査を受けることが重要です。間隔は除菌した際の内視鏡検査上の胃炎（萎縮性胃炎）の程度で判断します。ピロリ菌感染についてぜひ一度チェックしてください。いくつかの検査方法がありますので専門医にご相談ください。もちろん当科も大歓迎です。

(消化器内科 岡田 裕之)



臨床栄養部監修 レシピ紹介 新玉ねぎの丸ごとコンソメ煮

春は新玉ねぎがおいしい季節！新玉ねぎは、水分たっぷりでみずみずしく、甘くて柔らかいのが特徴です。電子レンジで簡単に作れるお手軽な一品をご紹介します。新玉ねぎの甘みと柔らかさをまるごと味わってみてください♪



【作り方】

1. 新玉ねぎの皮を剥き、上下を切り落とす。
2. 新玉ねぎの根の方に、十字に切れ目を入れる。
3. ベーコンは1cmの幅に切る。
4. しめじは石突きを切り、小房に分ける。
5. 深めの耐熱ボウルに①を入れ、600Wの電子レンジで約10分加熱する。
6. 新玉ねぎが柔らかくなったらコショウを加え、お好みで乾燥パセリをのせて完成。

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	食塩相当量
167 kcal	4.8g	10.6g	15.1g	3.1g	1.4g

- 【材料】（1人前）
- ・新玉ねぎ・・・小1個（約150g）
 - ・ベーコン・・・1枚
 - ・しめじ・・・20g
 - ・ローリエ・・・1枚
 - ・コンソメ・・・2g
 - ・有塩バター・・・3g
 - ・水・・・150ml
 - ・コショウ・・・適量
 - ・乾燥パセリ・・・適量

リレーエッセイ

このマークをトイレ等で見たことがありますか？マークの下に「オストメイト」と記載していることもあります。オストメイトとは、病気や怪我などから「人工肛門、人工膀胱を造設された方」の事です。私はこの手術をされる方が、最小限の不安で手術に挑め、手術後は元の生活に戻れるように支援する専門の看護師です。オストメイトの方が笑顔の時間が多くなるようにしたいと常に思っています。次は、いつもお世話になるベテランの歯科衛生士さんにバトンを渡します。

(皮膚・排泄ケア認定看護師 青井 美由紀)

宮脇副病院長の『春といえば〇〇』

春といえば東風（こち）

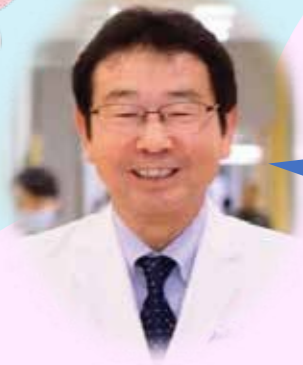
「東風吹かば にほひおこせよ梅の花 あるじなしとて春を忘るな」とは、太宰府に左遷された菅原道真公が、京を離れることを惜しんだ歌です。現在では春の花といえば桜ですが、昔は梅のほうが人気だったようです。春は卒業、転職の時期ですので、私は、歓送会での贈る言葉として、遠く離れてもお互い忘れない、という思いを込めてこの句を紹介したりしています。逆に、この時期、新天地で生活を始められる方も多くおられるでしょう。そこで一首、「過ぎし日の つぼみに返れ梅の花 初志にもどりて夢を咲かせよ」皆さん、頑張りましょう！

大塚副病院長の医者になろうと思ったきっかけ

北九州の小倉出身の私は、法律家だった父の姿を見て育ち、ずっと文系を志していました。父が肺病をわずらい、私が高校1年のとき、あと5年ほどの余命・・・と言われたのをきっかけに、いつの間にか医学部を目指すようになり、漠然と、難病を解決したい・・・と思っていました。当時の在宅酸素は保険適応でなく、父は大きな酸素の濃縮機械を自宅に置いて、夜間は酸素吸入していました。私が大学2年のときに父は他界しましたが、夜遅くまで仕事をしていた父の姿を、今もふと思い出しながら、私も頑張っています！



病院長の金澤です。今年度の副病院長を紹介します。
これからも岡山大学病院を宜しくお願いします！



病院長 金澤 右
(放射線科)

副病院長 大塚 文男
(総合内科・総合診療科)

総務・企画運営担当



患者の皆さまに最新の医療を安心・安全にお届けできるよう尽力し、学生・職員を含め病院に集う全ての方々に安らぎのある優しい環境づくりを目指しています。趣味は音楽鑑賞ですが、顧問をしておりますピアノ部の院内演奏会にもぜひお越しください。

副病院長 増山 寿
(産科婦人科)

診療(医科)担当



地域医療から高度な先進医療まで、安全そして顔の見える温かい医療を提供できるように、“チーム岡大”一丸となって努力してまいります。最近ハマっているのは、出張先で時間を見つけて訪ねる各地のMuseumめぐりです。本物にふれて感性を磨きたいと思っているのですが…。

副病院長 宮脇 卓也
(歯科麻酔科)

診療(歯科)担当



大学病院では、さまざまな専門的な歯科治療を提供しています。是非ホームページを見て、スタッフにご相談ください。私は、大河ドラマが好きで、見ています。いいですね！
【参照ホームページ】
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index20.html>

副病院長 豊岡 伸一
(呼吸器外科)

教育(医科)担当



今まで外科医として医療に携わってきました。チームワークを大切にしながら、真心をもって良質な医療を患者さんに施すことができる医師を育てることに取り組みます。学生時代はテニスをしておりました。最近、また少しずつですが始めています。

副病院長 前田 嘉信
(血液・腫瘍内科)

研究(医科)担当



ここ岡山大学から新たな治療法が開発され、一人でも多くの患者さんが救われることを目指して研究を推し進めています。大きなゲレンデをスキーするのが趣味です。が、冬限定なので、日々は移動中の読書が楽しみです。

副病院長 柳 文修
(歯科総合診断室)

教育・研究(歯科)担当



大学病院では診療を通して教育と研究を行っており、優秀な医療人の育成と臨床研究の推進に取り組んでいます。患者の皆さまには、常日頃よりご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。家族で美味しいものを食べ歩くのが好きで、たまに自分でも料理をしています。

副病院長 塚原 宏一
(小児科)

医療安全管理担当



私たち医療安全管理部は「医療の高品質と信頼できる安全」を保証する環境作りに努めています。私たちは医療者と患者さんご家族の良い信頼関係を築くことに力を尽くしたいと思っています。趣味は読書ですが、最近は小児保健だけでなく医療安全管理を対象にするものも多くなっています。

副病院長 宗宮 昌子
(看護部長)

看護・患者サービス担当



医療の進歩により、今までは困難であった治療が可能となりましたが、病気も体も何もなくリセットされる訳ではありません。入院時から退院後を想定した看護を提供し、患者さんが安心して退院できる病院をつかっていきたいと思っています。趣味は、お昼寝、読書。日向ぼっこをしながら飲む梅こぶ茶は、心がほっこりします。